



**東フィンランド大学との  
博士前期課程ダブルディグリー・プログラムを開始しました！  
－12月17日(月)に説明会を行います。(取材対応可)－**

**<概要>**

豊橋技術科学大学は、世界に通用する質の保証された大学院教育を実施するための大学院改革をさらに推進するべく、大学院工学研究科博士前期課程（情報・知能工学専攻）と東フィンランド大学大学院（School of Computing）とのダブルディグリー・プログラム（以下、DDP）に関する協定を締結し、産学協同研究への積極性と産業界の深い理解を持つ、世界に通用する優秀な高度人材を輩出する新たな高等教育プログラムを提供します。

そこで今回、パートナー大学である東フィンランド大学から来学するプログラム担当教授等と、本DDPに関する説明会を以下のとおり開催します。

日 時：平成30年12月17日（月）10：00～10：30 ※

場 所：豊橋技術科学大学 附属図書館1階 マルチプラザ

内 容：東フィンランド大学の紹介、DDPに関する概要説明

言 語：英語（取材される方向けに日本語での補足説明あり）

※以降も、学生向けに具体的な研究紹介等について説明を行います。

**<詳細>**

フィンランドは、近年では情報通信等のテクノロジーを主軸に最先端の研究を行っており、IT企業を中心として国際経済力も極めて高い国であると同時に、世界トップレベルの教育先進国としても知られており、高い教育水準のもと、多種多様な国際プログラムが推進されています。

本DDPはその中でも、2010年度のQS世界大学ランキングで308位にランクインするなど、世界的にも高い評価を得ている東フィンランド大学と、博士前期課程学生を対象としたダブルディグリー・プログラムに関する協定を締結し、産学連携型の新しい高等教育プログラムを構築しました。

博士前期課程の学生はそれぞれの母校において教育・研究指導を受け、さらにフィンランドからの学生は日本国内企業、日本からの学生はフィンランド国内企業において3ヶ月間の企業インターンシップを実施します。この企業インターンシップは科目としてだけではなく、修士研究の一部としても位置づけられています。

履修生はプログラム履修開始時に企業と本学および東フィンランド大学教員により共同提案された修士研究テーマを設定することで、両大学と企業から構成されるグループ指導体制の下、修学・研究と社会実装までが密接に関連した教育を受けることが

可能となっており、修了後は両大学から修士の学位が授与されます。

本DDPは、東フィンランド大学では既に2018年9月から履修生を受け入れており、本学では2019年4月から第一期の学生が履修を開始します。そこで、来年度の始動に向けて募集説明会を実施するにあたり、東フィンランド大学から来学した情報系各分野の教授等6名と共に、本DDPの概要説明と両大学の研究紹介を行い、世界に通用する高度人材の育成に係る本学の狙いについてご説明する予定です。

本件に関する連絡先

プログラム担当：教務課 山田 (TEL:0532-44-6542)

説明会担当：国際課 蒲原 (TEL:0532-44-6576)

広報担当：総務課広報係 前田・高柳・梅藤 (TEL:0532-44-6506)

# 産学連携型 博士前期課程ダブルディグリープログラム



## 日本とフィンランドで最先端ICTを学ぶ

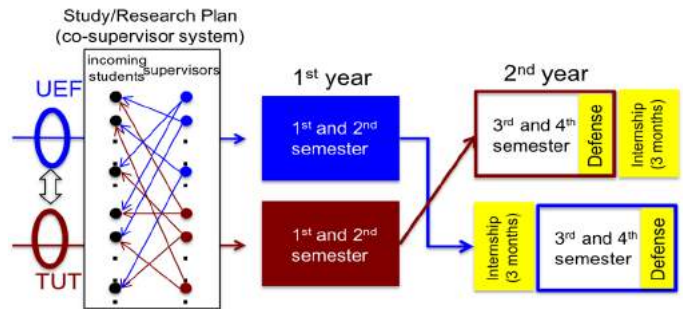
- ◆ 豊橋技術科学大学(TUT) 情報・知能工学系、東フィンランド大学(UEF) School of Computing でそれぞれ1年間ずつ、世界最先端のICTを学びます。最終審査に合格すれば工学(修士)と Master of Scienceの2つの学位を取得できます。

- ◆ 最先端のICT分野をカバーします。  
TUT: 計算機数理科学、データ情報学、ヒューマン・ブレイン情報学、メディア・ロボット情報学

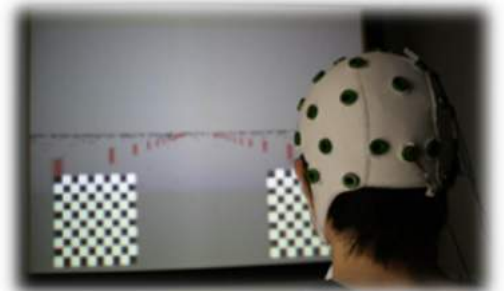
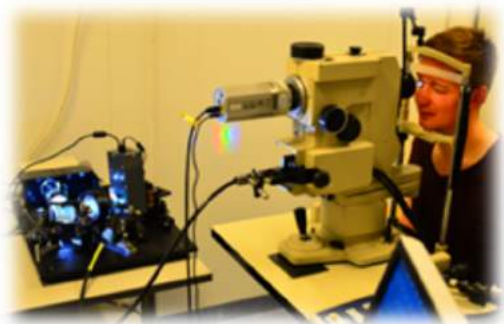
UEF: Computational Intelligence, Computational Spectral Imaging,  
Machine Learning, Educational Technology, Interactive Technologies

- ◆ グローバルな産学連携を基盤とした教育プログラムとして、3ヶ月の企業インターンシップ(日本企業またはフィンランド企業)が必修科目として設定されています。

- ◆ 研究テーマはTUT, UEF, 日フィン企業からの共同提案としてリストアップされ、共同指導体制により実施されます。企業インターンシップと連携することで、基礎研究から産業応用までを広く学ぶことができます。



共同指導体制(co-supervisor system)の下  
それぞれ日本とフィンランドで1年間ずつ学びます



世界最先端の研究施設でICTを学びます  
写真上: スペクトルイメージングによる眼底撮影  
写真下: 脳波を使ったドライビングシミュレーション



## 高等教育と産学連携

産学連携の重要性は古くから指摘されてきましたが、未だ十分とは言えない状況です。特に高等教育における連携は依然として発展途上の段階です。

このプログラムでは研究テーマを産学共同で立案する仕組みと、さらにマスターコースの研究活動とリンクさせた3ヶ月のインターンシップを導入することで、より密接な産学連携体制を構築します。

研究指導もTUT-UEFの教員によるco-supervisorに加え、テーマ立案した企業からのindustrial advisorを加えた共同指導体制により、多角的な研究指導を実施します。

## なぜ日本とフィンランド？

日本とフィンランドは実は多くの共通点があります。例えば、森林資源に頼っていた産業構造が近年では情報通信等のテクノロジーを主軸とするようになったことなど、技術立国の様子は日本と似ています。

一方で、フィンランドは世界トップレベルの教育国家としても知られていて、そこには、人材が国の財産である、という基本的な考え方が根底にあります。

日本の実直さと高度な技術力、フィンランドの豊かな自然と教育力。その相互作用のなかに、新しい大学教育の在り方を見出したい、そんな想いが本ダブルディグリープログラムには込められています。



## タイムスケジュール (TUT学生)

<出願スケジュール>

出願期間：2019年2月22日(金)～3月5日(火)

学内選考(書類・面接)：2019年3月上旬

学内選考採否通知：2019年3月中旬

<入学後スケジュール>

博士前期課程入学：2019年4月

東フィンランド大学派遣期間：2019年9月～2020年9月

博士前期課程修了：2021年3月

## 応募方法

下記のホームページから出願書類を入手し、国際課留学生係に提出して下さい。

<http://ignite.tut.ac.jp/cir/japanese/ddp/ddp-uef.html>

